

表15 梅毒 年齢層別 報告数 発生率 年次推移 (7)

	2001				2002				2003				2004			
	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明	合計
0-4									0	0	0	0	0	0	0	0
5-9									0	0	0	0	0	0	0	0
10-14									0	5	1	6				
15-19									28	23	1	52				
20-24									37	34	0	71				
25-29									78	19	1	98				
30-34									95	12	0	107				
35-39									94	6	0	100				
40-44									88	8	0	96				
45-49									44	4	0	48				
50-54									25	3	0	28				
55-59									14	2	0	16				
60-64									10	0	0	10				
65-69									2	1	0	3				
70-74									2	1	0	3				
75-79									1	0	0	1				
80-84									1	0	0	1				
85+									0	0	0	0				
不明									0	0	0	0				
報告数	499	118	3	620												
オーストラリア 第1期 & 第2期 & 前期																
潜伏期 2004 年以降																
人口10万人あたり									0.0	0.0	0.0	0.0				
0-4									0.0	0.0	0.0	0.0				
5-9									0.0	0.7	0.1	0.4				
10-14									4.0	3.4	0.1	3.8				
15-19									5.2	5.0	0.0	5.1				
20-24									11.4	2.8	0.1	7.2				
25-29									12.6	1.6	0.0	7.0				
30-34									12.9	0.8	0.0	6.8				
35-39									8.9	1.0	0.0	4.9				
40-44									8.2	0.9	0.0	3.3				
45-49									3.8	0.5	0.0	2.1				
50-54									2.3	0.3	0.0	1.3				
55-59									2.2	0.0	0.0	1.1				
60-64									0.5	0.3	0.0	0.4				
65-									0.7	0.3	0.0	0.5				
70-74									0.4	0.0	0.0	0.2				
75-79									0.7	0.0	0.0	0.3				
80-84									0.0	0.0	0.0	0.0				
85+									0.0	0.0	0.0	0.0				
不明									5.0	1.2	0.0	3.1				
合計	642	111	753	1,116	139	1,257	1,461	191	1,652	2,000	283	2,283				
第1期 & 第2期									0.0	0.3	0.1	0.1				
<16									2.1	1.6	1.9	2.0				
16-19									7.5	2.3	4.9	10.4	3.5	3.7		
20-24									13.2	1.8	7.5	18.7	2.5	9.6		
人口10万人あたり									11.1	0.7	5.8	16.1	1.3	8.7		
25-34									2.3	0.1	1.1	3.3	0.2	1.8		
35-44									5.0	0.6	2.8	9.8	0.9	3.8		
45+																
合計									5.0	0.6	2.8	9.8	0.9	3.8		

表15 梅毒 年齢層別 報告数 発生率 年次推移 (B)

	2005				2006				2007				2008				
	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明	合計	男性	女性	不明	合計	
	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84
報告数	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	1
オーストラリア 第1期&第2期&前期	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	0
潜伏期 2004年以降	812	128	7	643	682	177	1	840	1,228	169	2	1,389	1,059	136	2	1,197	
人口10万人あたり	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
たる	0.3	0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
報告数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(性感染症クーリニックの不明)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
み	51	13	0	32	64	17	0	41	118	18	0	67	101	13	0	57	
第1期&第2期	<16	4	13	17	2	9	11	2	4	5							
	16-19	78	32	108	67	51	118	52	46	90							
	20-24	305	87	392	278	72	350	279	70	349							
	25-34	755	112	867	714	87	801	721	96	807							
英國	35-44	770	75	845	851	56	807	762	41	803							
(性感染症クーリニックの不明)	45-64	428	40	468	429	17	446	464	29	493							
み	>65	19	3	22	35	2	37	32	3	35							
	リニックの不明	2	0	2	13	1	14	83	6	89							
み	合計	2,359	362	2,721	2,389	295	2,684	2,395	285	2,690							
	<16	0.3	1.1	0.7	0.2	0.8	0.5	0.2	0.4	0.3							
	16-19	4.7	21	3.4	4.1	3.3	3.7	3.2	3.0	3.1							
	20-24	15.1	45	14.6	14.8	3.9	21.1	19.3	3.7	20.7							
人口10万人あたり	19.2	2.9	11.0	18.1	2.2	10.1	18.3	2.2	18.2								
たる	35-44	16.8	1.6	9.1	18.6	1.2	9.8	16.8	0.9	8.7							
45+	3.9	0.3	2.0	4.0	0.1	2.0	4.3	0.2	2.1								
	合計	8.0	1.2	4.5	8.0	1.0	4.4	8.1	0.9	4.4							

表16. 淋菌感染症 報告数 年次推移

		1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
米国	男性	314,006	260,464	207,581	204,920	179,873	149,826	161,835	175,847	179,913	179,651	177,531	171,839
	女性	234,285	208,900	172,800	177,979	163,137	146,585	165,136	180,260	179,803	179,128	184,227	179,997
	不明												
	合計	548,291	469,364	380,381	382,899	343,010	296,411	326,971	356,107	359,716	358,779	361,758	351,836
カナダ	男性	7,086	5,148	3,738	3,478	3,322	2,845	2,646	2,921	3,322	3,829	4,176	4,589
	女性	5,352	4,093	3,086	2,845	2,385	2,168	1,822	1,938	2,054	2,353	2,571	2,770
	不明	19	12	8	44	8	10	9	9	5	7	9	6
	合計	12,457	9,253	6,832	6,167	5,715	5,023	4,477	4,868	5,381	6,189	6,756	7,365
オーストラリア	男性	1,765	2,077	2,018	2,021	2,266	2,613	2,895	3,550	3,815	3,968	4,254	4,344
	女性	752	781	763	917	1,015	1,510	1,760	1,883	1,762	1,922	2,029	2,049
	不明	43	29	18	15	17	7	6	15	14	3	4	8
	合計	2,560	2,887	2,799	2,953	3,298	4,130	4,661	5,448	5,591	5,893	6,287	6,401
英国	男性									8,930	11,326	15,234	16,626
	女性									4,282	5,144	6,566	7,079
	(うちMSM)									(1,799)	(1,966)	(3,149)	(3,741)
	合計									13,212	16,470	21,800	23,705
		2003	2004	2005	2006	2007	2008						
米国	男性	160,459	157,623	161,557	170,902	168,011							
	女性	174,645	172,509	178,036	187,464	187,980							
	不明												
	合計	335,104	330,132	339,593	358,366	355,991							
カナダ	男性	5,025	5,888	5,749	6,844	6,746							
	女性	3,210	3,422	3,440	4,479	4,768							
	不明	6	7	10	11	6							
	合計	8,241	9,317	9,199	11,334	11,520							
オーストラリア	男性	4,700	4,914	5,490	5,838	5,091	4,787						
	女性	2,081	2,175	2,569	2,716	2,575	2,606						
	不明	9	94	16	11	8	11						
	合計	6,790	7,183	8,075	8,565	7,674	7,404						
英国	男性	17,409	15,677	13,876	13,538	12,933							
	女性	7,564	6,649	5,372	5,360	5,777							
	(うちMSM)	(4,077)	(3,994)	(4,386)	(4,568)	(3,868)							
	合計	24,973	22,326	19,248	18,898	18,710							

出典

米国 報告数	●報告数	Centers for Disease Control and Prevention (CDC). Sexually Transmitted Disease Surveillance 1993-2007.
	●発生率	以下のURLより入手可、URL: http://www.cdc.gov/std/stats/default.htm (Last accessed Jan 27, 2009)
カナダ	●報告数	注) この表は年齢の比較のみに使用し、全体合計または男女合計には使用しないこと。年齢または人種・民族が特定されないなかった場合、実数が特定されているケースの分布に従って割合が示されているためである。以下の年度においては、ここに挙げた州が多くのケースについて人種・民族を報告していないため、除外されている: 1996年(コロラド、デラウェア、ジョージア、メリーランド、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、サウスカロライナ)、1997年(コロラド、デラウェア、コロンビア州、ジョージア、メリーランド、ミシガン、ミシシッピ、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、サウスカロライナ)、1998年(コロラド、コロンビア州、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク)、これらの州や地域のケースや基準人口は除外されている。本表と本報告書の他の表の全体件数の違いは、異なる報告様式と上記の除外分によるものである。0~9歳の年齢グループは、一部について性感染ではないかも含まれていないため含まれていない。しかしながら、合計には含まれている。
	●発生率	Public Health Agency of Canada. STI Data Tables 以下のURLより入手可、URL: http://www.phac-aspc.gc.ca/std-mts/sti-its_tab/index-eng.php (Last accessed Jan 27, 2009)
オーストラリア	●報告数	注1) 10万人あたりの率について、人口はStatistics Canadaによって推定されたものである。(出典: Statistics Canada, Demography Division, Demographic Estimates Section, July Population Estimates, 1997-2000 final intercensal estimates, 2001-2003 final postcensal estimates, 2004-2006 updated postcensal estimates, 2007 preliminary postcensal estimates.) 注2) 2006年と2007年のデータは予備的なものであり、変更が予期されている。 注3) 性別不明ケースにはトランジンジャーを含む 注4) 州/準州に於いて報告されたデータとPublic Health Agency of Canadaによって報告されたデータの間に、多少のばらつきがあるかもしれない。州/準州のデータは確定的であるため、不一致が存在しているはずである。(出典: Surveillance and Epidemiology Section, Community Acquired Infections Division, Centre for Communicable Diseases and Infection Control, Public Health Agency of Canada, 2008.)
	●発生率	Australian government. Department of Health and Ageing. National Notifiable Diseases Surveillance System 内 "Notifications of SELECTED DISEASE by Age Group and Sex" より1993~2008年のデータをダウンロードののち、MS Excelにて集計
イギリス	●報告数	以下のURLよりアクセス可、URL: http://www9.health.gov.au/cda/source/Rpt_5_sel.cfm (Last accessed Jan 27, 2009)
	●発生率	件数: Health Protection Agency. Selected STI diagnoses made at GUM clinics in the UK: 1998 - 2007 以下のURLより入手可、URL: http://www.hpa.org.uk/web/HpAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884 (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) スコットランドの地域保健局のデータ収集において問題が起つたため、2000年のスコットランドのデータは少し欠損している。 注2) 2007年、29のクリニックが、KC60フォーム(訳注: 性感染症報告書式)の4分の1以上記録していない。 注3) 16歳未満は15歳未満と15歳の合計であり、総合計には含まれていない。
	●発生率	Health Protection Agency. Selected STI diagnoses and diagnosis rates from GUM clinics in the UK: 2003 - 2007 以下のURLより入手可、URL: http://www.hpa.org.uk/web/HpAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884 (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) 診断件数はクリニックデータの欠損を調整済み 注2) 2003年における作業量の増加は、一部、報告システムの変更(Sコードの追加)によるものである。 注3) 診断はその地域の性感染症クリニックに基づいて計算されており、発生率はその地方の居住人口で計算されている。2007年の計算には2006年の年次人口推計値が用いられている。 注4) MSMは総合計に含まれていない

表17. 淋菌感染症 10万人あたり発生率 年次推移

	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
米国	男性	280.9	280.9	185.1	182.7	160.8	127.9	123.5	133.2	135.0	130.1	128.8
	女性	200.0	200.0	147.2	151.7	139.6	120.2	120.9	130.4	129.0	124.9	128.5
	不明											
	合計	239.5	239.5	165.8	166.8	149.9	124.0	122.2	131.7	131.9	127.5	128.5
カナダ	男性	51.0	36.6	26.3	24.2	22.9	19.4	17.8	19.5	22.0	25.1	27.2
	女性	37.9	28.6	21.3	18.1	16.1	14.5	12.0	12.7	13.3	15.1	16.4
	不明											
	合計	44.4	32.6	23.8	21.2	19.5	16.9	14.9	16.1	17.6	20.1	21.8
オーストラリア	男性	20.5	23.8	22.9	22.7	25.2	28.7	31.5	38.2	40.6	41.8	44.5
	女性	8.7	8.9	8.6	10.2	11.2	16.4	18.9	20.0	18.5	19.9	20.7
	不明	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
	合計	14.8	16.5	15.8	16.5	18.3	22.6	25.2	29.1	29.5	30.8	32.4
英国	男性											
	女性											
	MSM											
	合計											
	2003	2004	2005	2006	2007	2008						
米国	男性	112.2	109.1	110.7	117.1	113.9						
	女性	118.2	115.7	118.4	124.6	123.8						
	不明											
	合計	115.2	112.4	114.6	120.9	118.9						
カナダ	男性	32.0	37.2	35.9	42.3	41.3						
	女性	20.1	21.2	21.1	27.2	28.6						
	不明											
	合計	26.0	29.1	28.5	34.7	34.9						
オーストラリア	男性	47.6	49.2	54.2	56.8	48.7	45.8					
	女性	20.8	21.5	25.0	26.1	24.4	24.7					
	不明	0.0	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1					
	合計	34.1	35.7	39.6	41.4	36.5	35.2					
英国	男性	59.8	53.6	47.1	45.6	43.6						
	女性	24.8	21.8	17.5	17.3	18.7						
	MSM											
	合計	41.9	37.3	32.0	31.2	30.9						

出典

米国 報告数	●報告数	Centers for Disease Control and Prevention (CDC). Sexually Transmitted Disease Surveillance 1993-2007.
	●発生率	以下のURLより入手可、URL: http://www.cdc.gov/std/stats/default.htm (Last accessed Jan 27, 2009)
	注)この表は年齢の比較のみに使用し、全体合計または男女合計には使用しないこと。年齢または人種・民族が特定されていないかった場合、変更が特定されているケースの分布に従って比例分配されているためである。以下の年度においては、ここに挙げた州が多くのケースについて人種・民族を報告していないため、除外されている: 1996年(コロラド、デラウェア、ジョージア、メリーランド、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、サウスカラolina)、1997年(コロラド、デラウェア、コロンビア州、ジョージア、メリーランド、ミシガン、ミシシッピ、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、サウスカラolina)、1998年(コロラド、コロンビア州、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク)。これらの州や地域のケースや基準人口は除外されている。本表と本報告書の他の表の全件数の違いは、異なった報告様式と上記の除外分によるものである。0~9歳の年齢グループは、一部について性感染ではないかもしえないため含まれていない。しかしながら、合計には含まれている。	
カナダ	●報告数 ●発生率	Public Health Agency of Canada. STI Data Tables 以下のURLより入手可、URL: http://www.phac-aspc.gc.ca/std-mts/sti-its_tab/index-eng.php (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) 10万人あたりの率について、人口はStatistics Canadaによって推定されたものである。(出典: Statistics Canada, Demography Division. Demographic Estimates Section, July Population Estimates, 1997-2000 final intercensal estimates, 2001-2003 final postcensal estimates, 2004-2006 updated postcensal estimates, 2007 preliminary postcensal estimates.) 注2) 2006年と2007年のデータは予備的なものであり、変更が予期されている。 注3) 性別不明ケースにはトランジンジャーを含む 注4) 州/準州によって報告されたデータとPublic Health Agency of Canadaによって報告されたデータの間に、多少のばらつきがあるかもしれません。州/準州のデータは確定的であるため、不一致が存在しているはずである。(出典: Surveillance and Epidemiology Section, Community Acquired Infections Division, Centre for Communicable Diseases and Infection Control, Public Health Agency of Canada, 2008.)
オーストラリア	●報告数 ●発生率	Australian government. Department of Health and Ageing. National Notifiable Diseases Surveillance System 内 "Notifications of SELECTED DISEASE by Age Group and Sex" より1993~2008年のデータをダウンロードののち、MS Excelにて集計 以下のURLよりアクセス可、URL: http://www9.health.gov.au/cda/source/Rpt_5_sel.cfm (Last accessed Jan 27, 2009)
イギリス	●報告数 ●発生率	件数: Health Protection Agency. Selected STI diagnoses made at GUM clinics in the UK: 1998 - 2007 以下のURLより入手可、URL: http://www.hpa.org.uk/web/HpAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884 (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) スコットランドの地域保健局のデータ収集において問題が起つたため、2000年のスコットランドのデータは少し欠損している。 注2) 2007年、29のクリニックが、KG60フォーム(訳注: 性感染症報告書式)の4分の1以上記録していない。 注3) 16歳未満は15歳未満と15歳の合計であり、総合計には含まれていない。
	●発生率	Health Protection Agency. Selected STI diagnoses and diagnosis rates from GUM clinics in the UK: 2003 - 2007 以下のURLより入手可、URL: http://www.hpa.org.uk/web/HpAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884 (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) 診断件数はクリニックデータの欠損を調整済み 注2) 2003年における作業量の増加は、一部、報告システムの変更(Sコードの追加)によるものである。 注3) 診断はその地域の性感染症クリニックに基づいて計算されており、発生率はその地方の居住人口で計算されている。2007年の計算には2006年の年次人口推計値が用いられている。 注4) MSMは総合計に含まれていない

表18. 淋菌感染症 年齢層別 報告数 発生率 年次推移（5）

出典	
米国 報告数	●報告数 ●発生率
	Centers for Disease Control and Prevention (CDC). Sexually Transmitted Disease Surveillance 1993–2007. 以下のURLより入手可. URL: http://www.cdc.gov/std/stats/default.htm (Last accessed Jan 27, 2009) 注) この表は年齢の比較のみに使用し、全体合計または男女合計には使用しないこと。年齢または人種・民族が特定されていないかった場合、発生数が特定されているケースの分布に従って比例分配しているためである。以下の年齢においては、ここに挙げた州が多くのケースについて人種・民族を報告していないため、除外されている：1998年(コロラド、デラウェア、ジョージア、メリーランド、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、サウスカラolina)、1997年(コロラド、デラウェア、コロンビア州、ジョージア、メリーランド、ミシガン、ミシシッピ、ニュージャージー、ニューヨーク、オハイオ、サウスカラolina)、1998年(コロラド、コロンビア州、ミシガン、ニュージャージー、ニューヨーク)。これらの州や地域のケースや基準人口は除外されている。本表と本報告書の他の表の全体件数の違いは、異なるた報告様式と上記の除外分によるものである。0~9歳の年齢グループは、一部について性感染ではないかもしれないため含まれていない。しかしながら、合計には含まれている。
カナダ	●報告数 ●発生率
	Public Health Agency of Canada. STI Data Tables 以下のURLより入手可. URL: http://www.phac-aspc.gc.ca/std-mts/sti-itsa-tab/index-eng.php (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) 10万人あたりの率について、人口はStatistics Canadaによって推定されたものである。(出典: Statistics Canada, Demography Division, Demographic Estimates Section, July Population Estimates, 1997–2000 final intercensal estimates, 2001–2003 final postcensal estimates, 2004–2006 updated postcensal estimates, 2007 preliminary postcensal estimates.) 注2) 2006年と2007年のデータは予備的なものであり、変更が予期されている。 注3) 性別不明ケースにはトランジンダーを含む 注4) 州/準州によって報告されたデータとPublic Health Agency of Canadaによって報告されたデータの間に、多少のばらつきがあるかもしれない。州/準州のデータは確定的であるため、不一致が存在しているはずである。(出典: Surveillance and Epidemiology Section, Community Acquired Infections Division, Centre for Communicable Diseases and Infection Control, Public Health Agency of Canada, 2008.)
オーストラリア	●報告数 ●発生率
	Australian government. Department of Health and Ageing. National Notifiable Diseases Surveillance System 内 “ Notifications of SELECTED DISEASE by Age Group and Sex ” より1983~2008年のデータをダウンロードののち、MS Excelにて集計 以下のURLよりアクセス可. URL: http://www9.health.gov.au/cda/source/Ppt_5.xls.cfm (Last accessed Jan 27, 2009) 件数: Health Protection Agency Selected STI diagnoses made at GUM clinics in the UK: 1988 – 2007 以下のURLより入手可. URL: http://www.hpa.org.uk/web/HPAweb&HPAwebStandard/Page/1203348026884 (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) スコットランドの地域保健局のデータ収集において問題が起こったため、2000年のスコットランドのデータは少し欠損して 注2) 2007年、29のクリニックが、KC60フォーム(訳注: 性感染症報告書式)の4分の1以上記録していない。 注3) 16歳未満は15歳未満と15歳の合計であり、融合計には含まれていない。
イギリス	●報告数 ●発生率
	Health Protection Agency. Selected STI diagnoses and diagnosis rates from GUM clinics in the UK: 2003 – 2007 以下のURLより入手可. URL: http://www.hpa.org.uk/web/HPAweb&HPAwebStandard/Page/1203348028884 (Last accessed Jan 27, 2009) 注1) 診断件数はクリニックデータの欠損を調整済み 注2) 2003年における作業量の増加は、一部、報告システムの変更(Sコードの追加)によるものである。 注3) 診断はその地域の性感染症クリニックに基づいて計算されており、発生率はその地方の居住人口で計算されている。2007年の計算には2006年の年次人口推計値が用いられている。 注4) MSMは総合計に含まれていない

平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）
HIV 感染症の動向と影響及び政策のモニタリングに関する研究
(わが国の HIV 流行に関連する情報のモニタリングと統合的分析に関する研究)

近隣諸国・地域の HIV/STI 流行と出入国の動向に関する研究

西村由実子^{1,2} 小堀栄子^{1,2} 森重裕子^{1,2} 木原雅子¹ 木原正博¹

1 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野、2 財団法人エイズ予防財団

研究要旨

わが国の HIV/AIDS 流行の動向に影響を及ぼすと思われる東アジア近隣諸国の HIV/AIDS および STD の疫学データを収集・分析した。近年、日本人と東アジア地域の国々との人的交流は増加している。2007 年では、過去最高の 915 万人の外国人が日本に入国しているが、その数は多い順に韓国、台湾、中国、米国、香港と、東アジアが大半をしめている。また、長期滞在の日本人が最も多い都市として、2007 年には、上海がニューヨークを抜いて 1 位に浮上した。東アジア地域の HIV/AIDS 流行の状況は、IDU を中心とした局地的な高い感染と、MSM における感染の増加、さらに、異性間性交渉による女性への感染の拡がりの兆しに特徴づけられる。今年度、中国、台湾、香港、韓国の研究機関と共同でエイズ流行に関連する基礎データの共有を始め、これらの地域には有用なデータと経験が蓄積されていることが明らかになった。今後、共同研究を強化し、東アジア地域固有のエイズ流行予防対策の提言へとつなげていくことが重要である。

A. 目的

日本の HIV/AIDS 流行に影響を及ぼす外的要因を明らかにして、日本の HIV/AIDS 予防対策に役立てることを目的として、日本の出入国者数を示す基礎データと、中国、台湾、香港、韓国の HIV/AIDS および STD に関する疫学データを収集し分析した。

B. 対象・方法

日本の出入国者数に関する情報は、主にインターネットを通して、国内行政統計資料から入手した。東アジア諸国の HIV/AIDS 情報については、今年度は、各国の保健省における HIVAIDS サーバイランス担当研究者の協力を得て、HIV/AIDS および STD に関するデータを収集した。主な情報源となった機関およびその URL は、次のとおりである。

＜出入国者数に関する情報＞

・法務省入国管理局ホームページ

<http://www.immi-moj.go.jp/>

・日本政府観光局 JNTO ホームページ

<http://www.jnto.go.jp/jpn/>

・国土交通省『観光白書』

http://www.mlit.go.jp/hakusyo/kankou-hakusyo/kankou-hakusyo_.html

・外務省海外在留邦人統計

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/index.html>

＜東アジアの HIV/AIDS の疫学情報＞

中国

・ National Center for AIDS/STD Prevention and Control, China CDC 【中国語、英語】
<http://www.chinaids.org.cn/n16/index.html>

・ UNAIDS China Office 【英語】

<http://www.unaids.org.cn/en/index/index.asp>

・ China HIV/AIDS Information Network (CHAIN) 【中国語、英語】
<http://www.chain.net.cn/>

台湾

- Centers for Disease Control, R.O.C.(Taiwan) HIV/AIDS 統計【英語】
<http://www.cdc.gov.tw/np.asp?ctNode=2231&mp=5>

- Centers for Diseases Control, R.O.C. (Taiwan) HIV/AIDS 情報【中国語】
http://www.cdc.gov.tw/sp.asp?xdurl=disease/disease_content.asp?id=2215&mp=1&ctnode=1498#7

香港

- Centre for Health Protection, Department of Health

- Virtual AIDS Office of Hong Kong, Department of Health, The Government of the Hong Kong Special Administrative Region 【英語】
<http://www.info.gov.hk/aids/english/index.htm>

韓国

- Division of AIDS, Korea National Institute of Health, Ministry of Health, Welfare and Family Affairs

- 韓国 CDC AIDS 情報網【韓国語、英語】
http://www.cdc.go.kr/kcdchome.portal?_nfpb=true&_pageLabel=HPPHEA060&rootmenuid=20220&boardid=&contentid=3565

C. 結果

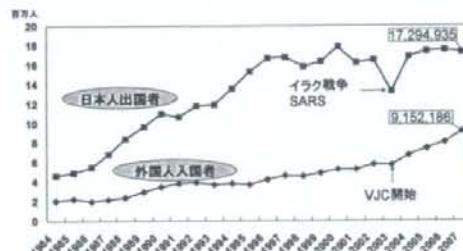
まず、日本出入国数など、日本人と外国人の交流の数を把握し、次に、東アジア地域における HIV/AIDS 流行の状況を調べた（各データのより詳細な数値は、添付資料の表を参考）。

C-1.日本人と外国人の交流

<日本出入国者数>

2007 年（平成 19 年）、外国人入国者は、915 万人と前年比 104 万人増で、はじめて 900 万人を突破し過去最高となつた。一方で、日本人出国者は、約 1729 万人で、前年に比べ約 24 万人の減少で、平成 15 年以来の減少となつた。（図 1、表 1）。

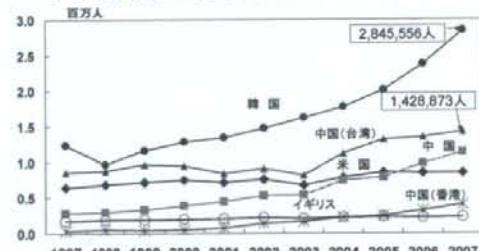
図1. 外国人入国者・日本人出国者の推移(1984~2007)



出典：法務省入出国管理局「平成19年における外国人及び日本人の出入国者統計について」より作成

次に、日本に入国する外国人の国籍である（図 2、表 2）。2007 年の値で、最も多いのは、韓国(285 万人)で、台湾(143 万人)、中国(114 万人)と続く。香港 (40 万人) は、米国について 5 番目に多い地域である。日本に来る外国人の中では、近隣の東アジア諸国からの人々の割合が多くなっていることがわかる。

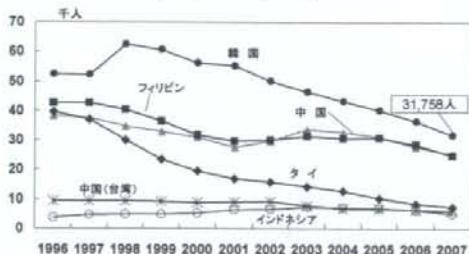
図2. 外国人入国者の国籍(出身地)別入国者数の推移(1997~2007)



出典：法務省入出国管理局「外国人及び日本人の出入国者統計について（平成13年度～19年度）」より作成

また、入国者の中で、在留期間を経過して滞在している、いわゆる不法滞留者の数を示した（図 3、表 3）。2007 年（2008 年 1 月 1 日現在の数）、最も多いのは韓国 (3 万 1758 人) である。全体としては、政府が実施している対策の影響もあり、不法滞留者数は減少している[1]。

図3. 不法残留者数の推移
(1997~2007)

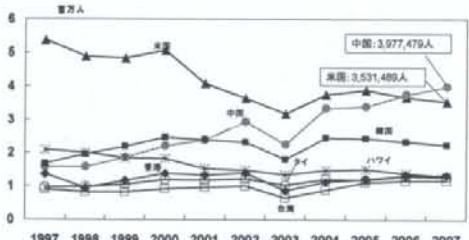


出典：法務省入管管理局「本邦における不法滞在者数について」平成15年～19年版より作成

<日本人海外滞在者数>

次に、出国する日本人の行き先である。海外旅行者の訪問先、および、長期滞在者（永住者を除く）の滞在先は次に示すとおりである。

図4. 日本人海外旅行者の訪問先の推移
(1997~2007)

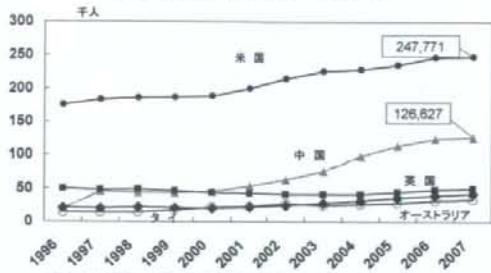


出典：日本政府観光局(JNTO)発表報道資料

2007年の日本人の海外旅行者の訪問先は、中国が約398万人、米国が約353万人、韓国が約2244万人で、前年に引き続き、中国が首位であった（図4、表4）。

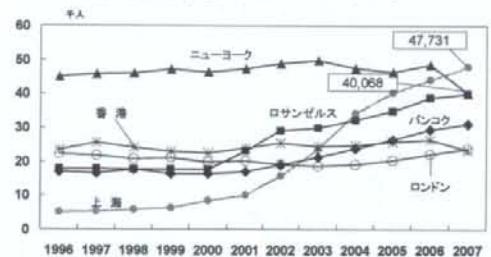
一方、3ヶ月以上の長期滞在者の数は、米国が約25万人と圧倒的に多い（図5、表5）。しかし、都市別に分けると、上海滞在者の増加は著しく、2007年、初めてニューヨークを上回り首位となった（図6、表6）[2,3,4]。

図5. 日本人海外長期滞在者の国別推移(1996~2007)



出典：外務省「海外在留邦人數調査統計(平成8年～19年)」より作成

図6. 日本人海外長期滞在者の都市別推移(1996~2007)



出典：外務省「海外在留邦人數調査統計平成8年～18年」より作成

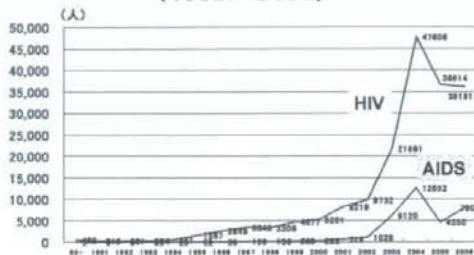
C-2. 東アジアにおけるHIV/AIDS流行

前節でみてきたとおり、東アジア地域と日本と交流は、年々盛んになっている。本稿では、特に4カ国・地域（中国、台湾、香港、韓国）のHIV/AIDS流行の特徴と性感染症報告の動向について、経年変化で追った（表7、表8、表9、表10）。

<中国>

中国で、最初のHIV/AIDS報告があつたのは1985年である。その後、報告数は、増加し、2008年7月末現在で、75,257件のAIDSを含む、257,668件のHIV感染が累計で報告されている（図7）。また、保健省とUNAIDSおよびWHOによる推計では、2007年末現在、中国におけるHIV感染者数は約70万人（55万人～85万人）で、そのうち女性の割合は30.8%、一般の人々におけるHIV感染率は0.05%と見積もられている。

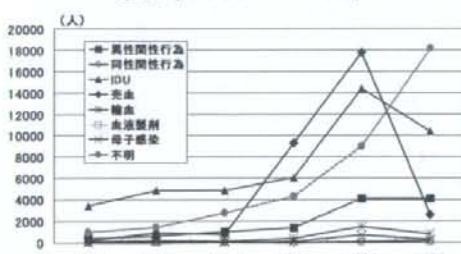
図7. 中国HIV/AIDS報告数
(1985~2006)



出典: State Council AIDS Working Committee Office & UN Theme Group on AIDS in China. "A joint Assessment of HIV/AIDS Prevention, Treatment and Care in China (2007)"

2000年～2005年のHIV/AIDS報告数の感染経路別の推移を見てみると、感染経路不明を除くと、IDUの割合が増えていること、売血による感染は減少し、異性間性行為による感染が増加しつつあることがわかる(図8)。2007年の推計では、5万件の2007年におきた新規感染のうち、44.7%は異性間性行為によるもの、12.2%は男性同士の性行為によるものと見積もられており、中国におけるHIV感染は、性感染の割合が大きくなりつつある。その中で、特定のグループから一般の人々への感染の拡がりが懸念されている。

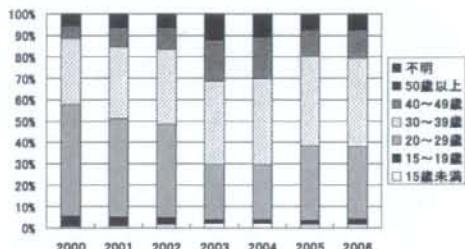
図8. 中国感染経路別HIV/AIDS報告数の推移(2000~2005)



出典: National Center of AIDS/STD Control and Prevention, China CDC
協力: Dr Lu Fan

2000年から2006年の報告数を年齢別で見てみると、全体としては、7割以上を20代、30代が占めており、特に若い世代を中心とした予防対策が不可欠となっている[5]。

図9. 中国年齢別HIV/AIDS報告数の推移(2000~2006)



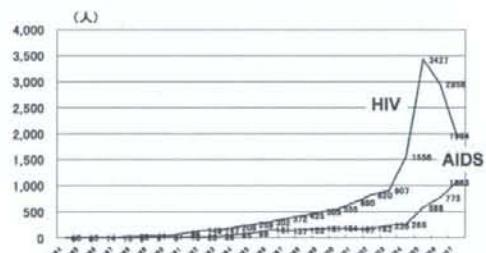
出典: National Center of AIDS/STD Control and Prevention, China CDC

協力: Dr Lu Fan

<台湾>

台湾のエイズ流行の最大の特徴は、2004年以降の報告数の激増し、2005年をピークに激減していることである(図10)。この増加はIDUによる感染であつたが、これは、ハームリダクションを含む強力な国家対策によってわずか数年で抑えられるに至った。このように即効的な対策の効果がみられた背景には、台湾国内でのエイズ対策に対する政治的リーダーシップ、予算配分、法整備、HIVスクリーニングシステム、ケア治療プログラムなどが存在したことによる。

図10. 台湾HIV/AIDS報告数(1984~2007)



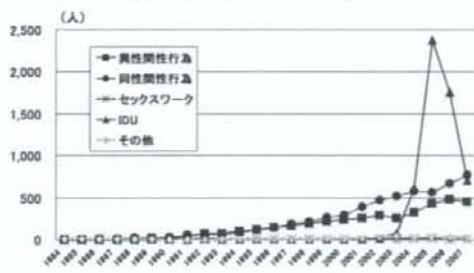
出典: Center for Disease Control, R.O.C.(Taiwan)

協力: Dr. Chin-Hui Yang

台湾におけるHIV感染およびAIDSの報告数の、感染経路別の経年変化と、累計を示した(図11、図12、図13)。HIVとAIDSの両方で、MSMおよび異性間性行為による感染が着実に増加している。2004年から2005年にみられたIDUによるHIV感染の激増の影響で、今後IDUに

における AIDS 報告も増加することが考えられる。

図11.台湾感染経路別HIV感染報告数の推移(1984~2007)



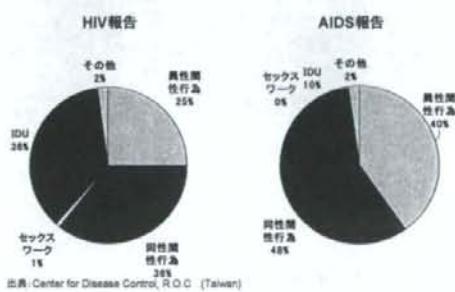
出典: Center for Disease Control, R.O.C.(Taiwan)
協力: Dr. Chin-Hui Yang

図12.台湾感染経路別AIDS報告数の推移(1984~2007)



出典: Center for Disease Control, R.O.C.(Taiwan)
協力: Dr. Chin-Hui Yang

図13.台湾感染経路別HIVおよびAIDS報告数の累計(1984~2007)



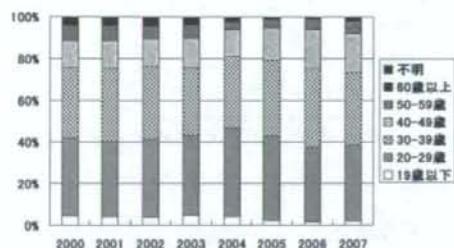
出典: Center for Disease Control, R.O.C. (Taiwan)

協力: Dr. Chin-Hui Yang

次に、台湾における HIV/AIDS 報告の年齢別の推移について、2000 年以降のデータを示した(図 14、図 15)。20 代、30 代を中心であるが、AIDS 報告については、

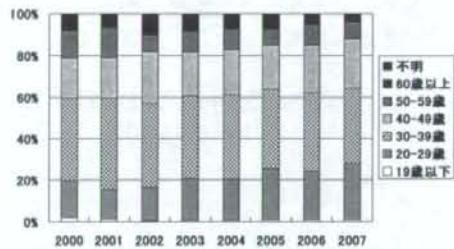
常に 2割程度、40 代もある。また、AIDS に関しては、20 代の割合が増加している傾向もみられる。

図14.台湾年齢別HIV報告数の推移(2000~2007)



出典: Center for Disease Control, R.O.C.(Taiwan)
協力: Dr. Chin-Hui Yang

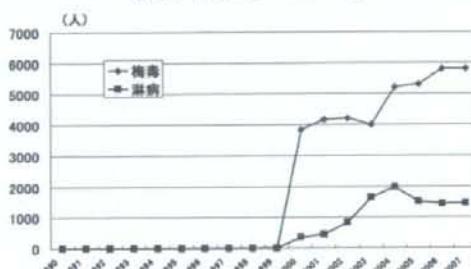
図15.台湾年齢別AIDS報告数の推移(2000~2007)



出典: Center for Disease Control, R.O.C.(Taiwan)
協力: Dr. Chin-Hui Yang

さらに、今後の AIDS 流行の動向の参考となる資料として、性感染症のうち、梅毒と淋病の報告数に関するデータを得た(図 16)。今後、クラミジアも含めて、長期にわたってこれらデータを追うことでの AIDS 流行との関連を分析していくことができるだろう[6]。

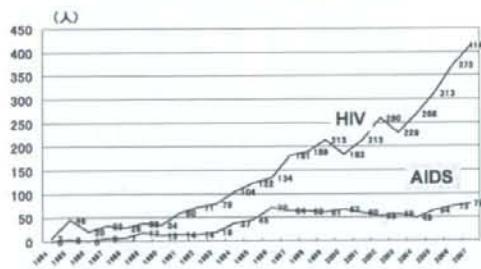
図16.台湾における性感染症報告数の推移(1990~2007)



<香港>

香港では、2008年6月末現在で、累計3822のHIV感染と966のAIDSが報告されている(図17)。香港においては、HIV/AIDSの報告は、匿名かつ本人の自由意志によるものとされている。そのため、秘密が保持され報告が促進される一方で、重複報告の可能性があることやデータ確認が難しいなどの欠点もある。

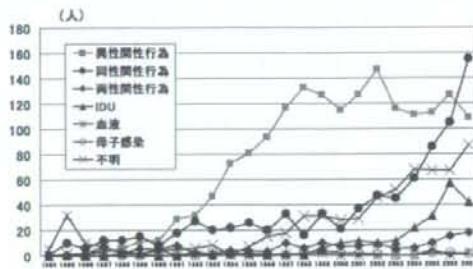
図17.香港HIV/AIDS報告数(1984~2007)



出典:Hong Kong STD/AIDS surveillance report Vol 13, No 1 to Vol 14, No2.
協力:Dr KCW Chan

主な感染経路は、性感染で、特に、近年MSMにおける感染が増加している(図18、図19、図20)。このMSMにおける感染について、2006年から2007年の感染では、香港内での感染が7割近くを占めていることが報告されている。

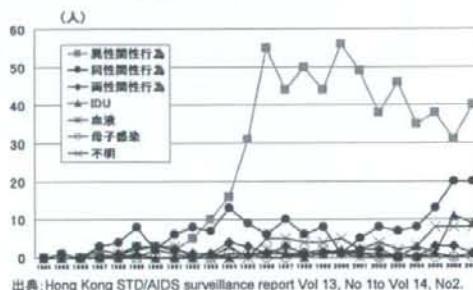
図18.香港感染経路別HIV報告数の推移(1984~2007)



出典:Hong Kong STD/AIDS surveillance report Vol 13, No 1 to Vol 14, No2.

協力:Dr KCW Chan

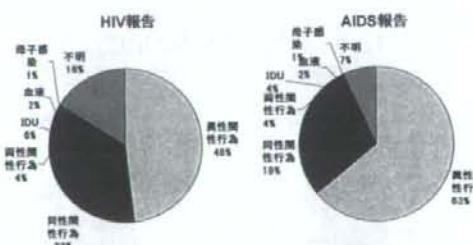
図19.香港感染経路別AIDS報告数の推移(1984~2007)



出典:Hong Kong STD/AIDS surveillance report Vol 13, No 1 to Vol 14, No2.

協力:Dr KCW Chan

図20.香港感染経路別HIVおよびAIDS報告数の累計(1984~2007)



出典:Hong Kong STD/AIDS surveillance report Vol 13, No 1 to Vol 14, No2.

協力:Dr KCW Chan

次に、香港におけるHIVおよびAIDS報告の年齢階級別の報告数の推移を示した(図21、図22)。HIV感染については20代、30代が中心だが、AIDSについては、40代以上の割合が5割近くになっている点が特徴的である。